

第1回 倉敷市水道事業経営審議会会議録

1 日 時 令和5年8月22日（火）14時00分～15時30分

2 場 所 水道局3階大会議室

3 出席者 出席委員12名

天王寺谷会長、伊藤委員、大橋委員、尾跡委員、児玉委員、竹田委員、

中村委員、西委員、別所委員、山路委員、山野委員、渡邊委員

事務局9名

古谷水道事業管理者、高旗参事、智片参事、森兼副参事兼水道管理課長、大森副

参事兼水道総務課長、佐藤副参事兼企画検査室長、難波水道営業課長、桂水道建

設課長代理、石井浄水課主幹

4 会 議

(1) 議 事

- 1 倉敷市水道事業の概要
- 2 倉敷市水道事業の財政状況
- 3 水道事業が目指す未来の倉敷市

<質疑>

1 倉敷市水道事業の概要

委 員 スライド18で基幹管路の耐震適合率について説明がありましたが、基幹管路の耐震適合率を高めるのは非常に重要だと思います。その優先順位はどのような基準で決めているのか教えてください。

事務局 基幹管路とは、導送水管と口径400ミリ以上の配水管のことです。浄水場から配水池、配水池から管末に向かって伸びていますので、まずは浄水場に近いほうから順番に耐震化を図っていきます。また当然、布設年度によって新しい管、古い管がありますので、そのあたりを勘案しながら優先順位をつけて更新を行っております。

委 員 資料の最後の出前講座についてですが、ある子どもに水筒のお茶が無くなったときに「水筒のお茶が無くなったどうしよう」と言われて、「水道の水を飲んでもいいよ」

と言うと、「水道の水は飲んでいいの?」と言われました。子どもたちはお茶を飲んだり、浄水器の水やミネラルウォーターなどに慣れていて、水道の水を飲んでいいという概念があまりないというのをすごく感じて、「大丈夫。倉敷の水は安全でおいしいし飲めるよ」と言う、「じゃあ飲んでくる」という感じで言っていました。学校でも水に困った時には、「水道の水を飲んでおいで」と勧める先生もいると思いますが、まだ知らない子どももやっぱり多いのかなという印象です。こういった出前講座をもっと増やして、子どもも安全でおいしい水が飲めるということを知ってもらえたらいいなと思いました。

事務局　ご指摘のとおり、私の小さい頃は特に学校で水道水を蛇口からがぶがぶ飲んでいたということがありました。委員がおっしゃられたようなことが学校現場でもあるという話を聞きましたので、令和2年度から学校水道水リフレッシュ化事業という取り組みを水道局で行っております。毎年、幼稚園や小学校に出前講座でお邪魔させていただき、水道の安全性やおいしさなどにつきまして、大体毎年300人程度以上の子どもたちにお話させていただき、あわせて学校の先生方にもPRをしております。また事業の中では、そういったPRだけではなくて、例えば実際に水栓自体を給食調理場から直接管を繋げて冷たい水にするといった事業も行っております。

2 倉敷市水道事業の財政状況

委員　電気や水道には未払いの方がいらっしゃると思います。そこで、よく聞くのは、水道は生きるために必要な最終的な手段だから少々払わなくても止められないという声です。地域の方からそういった苦情ではないですけど、そういった相談になった時に電気は払うけど水道は止まらないというふうに言われます。だから、「払わないと駄目よ」と言うのですが、水を止められたら死んでしまうので、少々払わなくても止められないというのを聞きます。先ほど収入減少は人口減少に伴うものと言われましたが、未払いの方の影響や対応はどうなのでしょう。

事務局　水道料金の未払いについては、基本的には、納期限の翌月に督促をいたしまして、さらにその翌月に催告書を送らせていただきます。催告後に2期分の未納がある場合には給水停止通知書をお送りさせていただきまして、それでもお支払いいただけない方については基本的に給水停止ということになります。ただ支払いが難しい方には分納誓約を

とっていただくなどの対応もしております。そのような対応を行い、近年の実績では、年度末時点で99%程度、さらに翌年度以降も対応を続けた結果、最終的には99.9%以上の収納率に至っております。これは他の中核市と比べても高い水準ですが、水道局としては水道料金の収納率100%を目指していききたいと思います。

事務局 基本的には、いま説明差し上げた通りですが、倉敷市水道局の料金徴収実績を振り返りますと、99%を超えております。水道料金の徴収は税のように公権力がある徴収の仕方とは違いまして、水道料金というのは個別契約です。民民とまではいえませんが、民間契約と同じなので、強制的な徴収権というのは付与されておられません。そんな中で、収納率99%以上という数字は全国的に見ても高い数字です。これは委員のご指摘のように個々の切迫度など兼ね合いがありますが、対応を一步誤ると行き過ぎたものとなってしまう、私どもも非難を受けることになりかねません。料金徴収業務は、直営ではなく、今は民間業者に委託して行っております。大変スキルアップした委託職員がやってくれていることもあり、直営の時より収納率は上がっております。あくまで理想は収納率100%なので、現状で良しとはしません。理由によっては給水停止をしますし、ご事情によっては一括でお支払いでなく分割でという場合もございます。最終的には収納率99%以上という状況なので、全体とすれば大変高い数字となっております。しかしながら、あくまで我々は、高いところを目指していきます。

委員 資料の2(2)資本的収支の内部留保資金55.9億円が設備投資資金の足りない部分ということですが、(1)収益的収支の減価償却費等31億円と利益14.8億円を足した45.8億円が今期の内部留保資金に入る額になるかなと思います。ですので、内部留保資金55.9億円という表記との差額10億円ぐらいの内部資金を切り崩していつている状況なのかというところを伺いできればと思います。

事務局 おっしゃられます通り、内部留保資金につきましては、利益14.8億円や減価償却費のほか、建設改良積立金もございますので、そのあたりを充てて賄っているというのが現状でございます。

3 水道事業が目指す未来の倉敷市

委員 基盤強化についてです。管路が一番大事だと思っておりますが、これは50年かけて整備して、また50年経てば最初に整備したところを、また新しいものに換えていく

とうのが延々と続いていくと思います。これから先、水道料金収入が減っていく中で、財政的に大丈夫なのかなと思うのですが。

事務局 人口減少等により水道料金収入については、まず全体的な数字としては減っていくことが予想されております。管路等施設等につきましても、当然維持管理等をしていく必要がありますので、一定程度の費用は必要となって参ります。そうした中で施設も過剰設備とならないよう統廃合や集約化をしながら、徐々に費用がかからないような工夫をしていく必要があると考えておまして、財政計画に基づいて必要な資金の確保に努めているところです。長期的な収支については今後審議会におきまして、もう少し詳しく説明させていただく機会もありますのでご意見等いただければと考えております。

事務局 水道事業が今抱えております課題に事業環境が厳しい中でどう取り組むか、これもやるあれもやると矛盾するようなことが本当にできるのかという質問ですけど、確かにその通りです。それを例えば単体でやるのか、広域連携するのか、あるいは他の方にお任せするのか、今の事業規模でいいのかどうか等、私どもも様々な検討をしております。それを今後2年間でいろいろとご意見をいただけたらと思っております。公営企業ですので、もちろん料金収入が基本ではございますが、場合によっては、企業債発行という手段もございます。それから当然利用していただく方には、我々の新たな価値を創出してお届けしようという意気込みでおりますので、その価値の上昇分に見合う負担というのは考える必要もあると思います。いろいろなものを組み合わせていく必要があると思っております。いろいろ勉強させていただければと思っております。

委員 水道料金が岡山県の市で2番目に安いということで大変企業努力をされていることと思います。

事務局 なかなかそこを死守するのは大変だと思いますが、水道料金が安いことを誇りとするのか、少しばかり水道料金が上がってもそれに見合うサービスを提供するのか、そのあたりのバランスだと思います。いろいろとお知恵をお借りできればと思います。

(2) 今後の日程について

事務局 審議会の日程ですが、第2回倉敷市水道事業経営審議会を10月11日(水)13時30分から、片島浄水場の方で開催させていただく予定です。希望される方には、浄水場見学も予定しております。後日開催案内を送らせていただきますので、よろしくお願

いたします。第3回審議会につきましては、11月ごろを予定しております。日程につきましては、できるだけ早めに委員の皆さまにご連絡をさせていただく予定でございます。

令和5年 9月 14日

代表署名人 天王寺谷 達将